

『大会発表論文集』(Proceedings) 執筆規定

(日本語による発表をされた方用)

第 23 回『大会発表論文集』(Proceedings) (第 16 号)

日本語用論学会では、2005 年度より、毎年の大会で発表された論文をとりまとめ、大会後に、『大会発表論文集』を発行しています。つきましては、大会の「研究発表」、「ワークショップ発表」、「ポスター発表」にて発表されました皆様でご投稿を希望される方々は、以下の要領で原稿をご提出ください。なお、投稿を希望されない方は提出不要です。

1. 執筆規定

1. 用紙・枚数：

A4 用紙、横書き。「研究発表」は 8 ページ以内、「ワークショップ発表」、「ポスター発表」は 4 ページ以内（注：要旨、参照文献を含む）。字数は自由。

2. 書式：

- a. 余白は上下 30mm、左右 25mm とする。1 行文字数、行数、段組などは自由（ただし、文字のサイズは極端に小さくしないこと）。
- b. 原稿の 1 ページ目には、タイトル（中央揃え）、氏名（右揃え）、所属（E-mail アドレスは任意）（右揃え）を記し、そのあと 2 行空けて要旨、本文を続ける。（裏面の「原稿のイメージ」を参照）
 - * 共著論文の場合は、著者ごとに「氏名（所属）」の様式にて右揃えで記す。
- c. 「はじめに」または「序論」の節は「0.」からではなく、「1.」から始めること。
- d. 例文の前後は 1 行、各節の前は 1 行空ける。
- e. 原稿のヘッダーやフッターには、何も記載しないこと。
- f. 注を付ける場合は巻末とし、本文と参照文献の間にまとめて入れる。
- g. 参照文献のフォーマットは『語用論研究』の執筆要領に従うこと（本学会のホームページ <http://www.pragmatics.gr.jp/publications.html> 参照）。
<特にご留意いただきたいこと>

- (1) 英語の文献と日本語の文献を混在させて、アルファベット順に並べる。
- (2) 英語の文献名は、内容語の語頭は大文字、機能語の語頭は小文字とする。

3. 要旨：

- a. 要旨は（日本語での論文も含め）全て英語によるものとし、約 100 語で書く。
- b. 要旨は<Abstract>とページの左上に記し、行頭をインデントしないこと。

4. キーワード

- a. 要旨の下に 1 行空けて「【キーワード】：」と明記し、日本語で 5 個以内を添える。
- b. キーワードと本文との間は 2 行空ける。

原稿のイメージ（1 ページ目）

タイトル	氏名 所属
<Abstract>	
【キーワード】：1、2、3、	
本文	

<共著の場合>
氏名1（所属）
氏名2（所属）

2. その他の注意事項

- a. 内容は、大会発表に沿ったものとする。（この際、タイトルの**変更は不可**とするが、内容について、発表時のコメントをふまえて修正を加えることは妨げない。）
- b. 使用言語は、発表言語に合わせて、**日本語**とする。
- c. 『プロシーディングズ』に掲載した内容は、さらに発展させて、『語用論研究』に投稿することができる。その場合は、必ず十分な加筆・修正を施すこと。

3. 原稿の提出方法

- a. 「原稿ファイル」を、本学会のホームページにある「会員専用ページ（マイページ）」の発表論文投稿画面（2021年2月にオープン予定）にて **Microsoft Word** で投稿する（**PDF** ファイルによる投稿については、ただいま検討中です）。但し、ワークショップの場合は、代表者が全員分を取りまとめて投稿のこと。
- b. 投稿者の連絡先などの個人情報については、投稿ページの画面に記載された指示に従い、入力すること。

4. 原稿の提出期限

2021年3月31日（水）23:59（日本時間）（この時刻までに投稿を完了すること）

* 上記の締切日時を過ぎると投稿ページが閉鎖され、投稿できなくなります。その時点で未提出のものは投稿を希望されないと判断しますので、ご了承ください。

【問い合わせ先】

日本語用論学会 大会運営部 プロシーディングズ担当 竹田 ちら
proceedings@pragmatics.gr.jp

* 投稿に関するお問い合わせは、2021年3月25日（木）までお願いいたします。